



麻布幼稚園だより 2月号

平成31年1月31日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「今年度の最後が近付いてきて」

園長 大島 美知代

1月に学級懇談会を行いました。平成30年度最後の3学期、それぞれの学級の方針や、2月の「こども会」への取り組み等についてもお話しました。

年長組は特に、あと少しで幼稚園が終わる、と思うと保護者は今までの小さかった我が子が成長したのを感じて嬉しいやらさびしいやら、複雑な気持ちを感じているようです。この学級懇談会で進級に向けて考えていただく時間をもったそうです。数人の保護者がグループになって、保護者自身も考える時間、話し合う時間を設定し、年長組の成長を共に喜び、先の見通しをもっていただける時間をつくったと担任は言っていました。その時の、保護者の話し合い後のメモを私はいただきました。①「就学に向けて大事にしたいこと」②「親として家庭で気を付けること」というお題を出し、下記のような意見がまとまったそうです。

①では～

- ・一人で通学するので交通マナーを家庭でも気を付ける。
- ・和式トイレを使えるようにする。
- ・給食に向けて、嫌いなものを少しでも食べるように努力している。
- ・小学校に対してポジティブな話をして、不安要素を与えないようにする。
- ・自分で物の管理をさせ、失くしたり、落としたりしないようにする。
- ・幼稚園のリュックの中身を自分で出し、自分で入れたりして忘れ物をしないようにする。
- ・話は「〇」で終わるようにし、言葉遣いに気を付ける。
- ・自分が使ったものは元の場所に戻す。片付けでは1つ出したら、1つ片付けようにする。
- ・自分の気持ちや考えを言えるようにする。人の話を聞いて理解する。

②では～

- ・家庭で規則正しい生活をする。
- ・子どもと会話をして理解しているかどうか、理解の度合いを確認する。
- ・早寝、早起きをさせる。
- ・人の話をさえぎらないようにする。
- ・失敗しても、出来るだけ自分で解決させる。
- ・小学校で新しい世界が広がるように、困ったことを何でも話せるようにする。子どもに聞くようにしたり、自分から話せるように待ったりする。

みんな大切なことですね。小学校の勉強について、というより子どもの基本的な生活習慣や心の持ち方についての話が多いですね。幼児期に教職員と保護者は共に力を合わせて「生涯にわたる人格形成の基礎」を培っています。「幼稚園は学校教育の始まりとして、一人一人の幼児が自分のよさや可能性を認識しながら～豊かな人生を切り拓き、～社会の作り手となることができるようになるための基礎」作りの時期です。

人生1度しかない、今の時期を大切に、保護者も我々も心して接し、見守っていきましょう。これからの社会、国を背負っていく人材になる基礎ですから。